

## 令和2年度 若木保育園における自己点検・自己評価

※ 今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせる方向で記入してください。

〔記入方法〕

- ・ A、B、C、Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください。
- ・ 項目ごとに、意見・改善策を記述してください。

A：たいへんよい
B：よい
C：一部検討を要する
D：改善を要する

項 目

### ◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項 目	内 容	評 価				意 見 ・ 改 善 策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			職員全員が共通理解を図り、0歳から6歳までの継続した育ちを見通した保育の計画目標を図っていくよう努めた。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				今年度より、自己評価を行ったため、今回の評価結果を基によりよい保育の改善に努めていきたい。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。		○			充実した保育時間を過ごせるよう、保護者に早い登園時間を協力してもらっている
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				行事はコロナの影響により中止になることも多く行事への参加は少なかったがそのような中でもできることをしたことで子どもの成長を感じることができた
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策		
		A	B	C	D			
経営	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			職員の経験年数も長く、配置も十分足りている為、協力して業務に当たることができている。	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○					
		(3) 職員の配置は適材・適所か。	○					
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○					
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○				緊急連絡が重なる場合、短時間でも集まって各クラスの代表に周知し全体に伝えるようにした	
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○					
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○				
	組織	年齢別クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				乳幼児期の発達を理解しながら、0歳児から就学までの成長を見通した計画とねらいを達成できる保育に取り組んできた。また、異年齢児での活動も行った。評価反省を次に生かせるよう記録を残すようにしていきたい。
			(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
			(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○				
(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。			○					
(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。			○					
(6) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。			○					
保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的な保健対策を講じているか。		○			手指消毒、室内遊具の消毒を徹底した。		
	(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○						
	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○						
	(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○					
研究・研修	所内研究	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○			園内研修により園全体での共通理解ができた	
		(2) 所内研修の計画・運営は適切か。		○				
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。		○				
		(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。		○				
	所外研究	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○				研修に参加し、個々に受講した研修を園内で報告実践につなげていった。	
(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○						

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				個人情報に関する園内研修を充実し、その中で個人情報の取り扱い方法や管理方法についての共通理解を図っている。
	(2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。		○			
	(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○				
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○			週1回の安全点検等の記入を行っている。 不審者対応にはカメラの設置と園内研修を通して周知徹底を図っている
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
	(3)不審者等に対応する周到的配慮を行っているか。		○			
	(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納経理	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				会計事務所のもと、処理をしている
開かれた交流・連携	(1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。		○			小学校の行事に積極的に参加し、交流を深めている。 授業参観日に出向き卒園後の成長を見る機会もあり情報交換や連絡をして共有することに努めた
	(2)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	○				
	(3)指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○			
	(4)参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。	○				
	(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に活かしているか。	○				
家庭との地域連携社会	(1)参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○			参観日は設定していないが、見学はいつでも受け入れられるようにして、相談にも対応できる体制をとっている。 地域の行事には積極的に参加し、数々の老人福祉施設も訪問している。 またひよっこ踊りや龍踊りなどたくさんの舞台を経験をして自信や自己肯定感を高められる努力をしている。
	(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○		
	(3)(乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	○				
	(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	○				

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
開かれた保育所づくり	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。	○				園に隣接して支援センターとともに、同年齢の子ども同士と一緒に遊べる計画を立てている。  全職員が、南島原市保護者支援士養成講座を受講して保護者支援に関する知識と技術を習得し、「子育て相談」を行っている。
	(2) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	○				
	(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
	(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	○				
	(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
情報の発信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				園だより、クラスだより、ホームページなどで施設の情報や活動を積極的に発信している。
	(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	○				
外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。				○	アンケートを通して、意見を頂き、よりよい改善に向けて取り組んでいる
	(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			

自己評価表 (年長児)

ねらい…「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

R2

保育所		名前( )		自己評価	
No.	内容	6月	3月	6月	3月
1	子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮が出来ている。	○	○		
2	指導計画の作成にあたっては、子どもの発達過程を踏まえ、生活の連続性、季節の変化等を考慮し、子どもの実態に即した具体的ねらい及び内容を設定している。	○	○		
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。	○	○		
4	子どもの発達や興味に沿った保育内容であり、子どもが意欲的に遊べるよう配慮している。	◎	◎		
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。	◎	◎		
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。	◎	◎		
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受容しようとしている。	A	子どもの思いを大切にしながら対応している。	○	◎
		B	温かい言葉遣いで、種やかに話している。	○	◎
		C	自分の思いを表現する力が十分でない子どもの、気持ちを汲み取っている。	○	◎
		D	「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止のことは用いないようにしている。	△	○
		E	「できない」「やっで」など言ってくる子どもに対して、子どもの状況に応じて対応している。	○	○
		F	子どものサインを見逃さず対応している。	○	◎
8	全体に気を配りつつ、特に遊びに入れない子どもへの働きかけをしている。	○	◎		
9	遊びや生活を通して、人間関係が育つように配慮している。	A	子ども同士の関係をより良くする様な、言葉かけをしている。	○	◎
		B	喧嘩の場面では状況を適切に捉え、双方の思いを大切に対応している。	○	◎
		C	年齢に応じた、社会的ルールを身につけるよう配慮している。	○	◎
		D	子どもが保育士の手伝いをしたり、友だちを助けたり、協力し合う場を設定している。	○	◎
10	保育士自身が楽しんで保育をしている。(楽しそうな表情ができる)	A	環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	○	◎
		B		○	◎
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、囁託医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。	○	◎		
12	保護者との連携が十分に取れている。	A	一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	○	◎
		B	気軽に話しやすい雰囲気作りが出来ている。	○	◎
		C	保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	○	◎
		D	子育てに関する相談、援助に対応できる。	○	◎
		E	支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。	○	◎
		F	子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	◎	◎
13	地域との連携の在り方がわかる。	A	関係機関との連携のとり方を知っている。(民生委員、健康推進課、幼稚園、子育て支援室など)	○	○
		B	子育て応援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。	△	○
		C	実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。	○	◎
目標	時間と心に余裕を持って仕事をやる。				所長印
自己評価	個人差に合った活動ができるように配慮していきたい。指導計画の振り返り、反省として内容を深めていきたい。				

記入方法 ( ◎とても良い、○良い、△配慮しましょう)

自己評価表 (2歳児)

ねらい...「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

R2

保育所 若木保育園		名前( )	自己評価	
No.	内 容		6月	3月
1	優しい笑顔で語りかけ、心のこもった世話をしている。		◎	◎
2	生活リズムが身につくように、くり返し話したり行動したりしている。		◎	◎
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。		◎	◎
4	子どもの興味としつけのバランスを考えながら保育している。		◎	◎
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。		◎	◎
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。		◎	◎
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受け入れる努力をしている。	A 子どもの思いを大切にしながら対応している。	◎	◎
		B 食事・排泄のしつけを個にあわせて工夫している。	◎	◎
		C 心を落ち着かせるために、生活環境を整える(整理整頓)の努力をしている。	○	○
		D 「早くしなさい」とせかさず言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止のことは用いないようにしている。	○	△
		E 個の発達段階によって、可能な目標を定め、個にあわせて支援をしている。(個々にあった手助け)	◎	◎
		F 子どものサインを見逃さず対応している。	○	◎
8	一人ひとりの声や活動をキャッチし、全体にも気を配っている。		○	◎
9	「かかわり」を意識して保育している。	A 保育士の誘いに応えることができるよう配慮している。(あやす・言葉がけをする・たしなめる)	○	◎
		B 他の子どもに話しかけたり、誘ったりできる雰囲気づくりをしている。	◎	◎
		C 待ってもらっていることに気づいたり、待ってあげたりできる子どもを育てよう配慮している。	◎	◎
		D 子どもが手本にしたり、真似したりできる行動を意識してとっている。	◎	◎
10	A 子どもが甘えられる雰囲気を持っている。(雰囲気を作る努力)		◎	◎
	B 環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。(保健・衛生)		◎	◎
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、囁託医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。		◎	◎
12	保護者との連携が十分に取れている。	A 一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	◎	◎
		B 気軽に話しやすい雰囲気作りが出来ている。	○	○
		C 保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	○	○
		D 子育てに関する相談、援助に対応できる。	○	○
		E 支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。	○	○
		F 子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	◎	◎
13	地域との連携のあり方がわかる。	A 関係機関との連携のとり方を知っている。(民生委員、健康推進課、子育て支援室など)	○	○
		B 子育て応援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。	○	○
		C 実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。	○	○
目標	不安な気持ちを受けとめながら温かく子どもたちと関わる。一人ひとりにあてに対応をしていく。		所長印	
自己評価	スキミングをとったからさようば掛けた。余裕をもって対応する事ができた。今後、ゆとり時間をキャッチしながら関わっていきたい。			

記入方法 ( ◎とても良い、 ○良い、 △配慮しましょう )

自己評価表 (年中児)

ねらい…「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

K 2

保育所		名前( )		自己評価	
No.	内容	6月	3月	6月	3月
1	子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮が出来ている。	○	◎	○	◎
2	指導計画の作成にあたっては、子どもの発達過程を踏まえ、生活の連続性、季節の変化等を考慮し、子どもの実態に即した具体的なねらい及び内容を設定している。	○	○	○	○
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。	◎	◎	◎	◎
4	子どもの発達や興味に沿った保育内容であり、子どもが意欲的に遊べるよう配慮している。	◎	◎	◎	◎
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。	○	○	○	○
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。	◎	◎	◎	◎
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受容しようと努めている。	A	子どもの思いを大切にしながら対応している。	○	◎
		B	温かい言葉遣いで、種やかに話している。	○	○
		C	自分の思いを表現する力が十分でない子どもの、気持ちを汲み取っている。	○	○
		D	「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止のことはを用いないようにしている。	△	○
		E	「できない」「やっで」など言ってくる子どもに対して、子どもの状況に応じて対応している。	○	◎
		F	子どものサインを見逃さず対応している。	○	○
8	全体に気を配りつつ、特に遊びに入れない子どもへの働きかけをしている。	○	◎	○	◎
9	遊びや生活を通して、人間関係が育つように配慮している。	A	子ども同士の関係をより良くする様な、言葉かけをしている。	◎	○
		B	喧嘩の場面では状況を適切に捉え、双方の思いを大切に対応している。	○	○
		C	年齢に応じた、社会的ルールを身につけるよう配慮している。	○	◎
		D	子どもが保育士の手伝いをしたり、友だちを助けたり、協力し合う場を設定している。	◎	◎
10	保育士自身が楽しんで保育をしている。(楽しそうな表情ができる)	A	環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	◎	◎
		B	環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	○	○
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。	○	○	○	○
12	保護者との連携が十分に取れている。	A	一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	◎	◎
		B	気軽に話しやすい雰囲気作りが出来ている。	◎	◎
		C	保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	◎	◎
		D	子育てに関する相談、援助に対応できる。	◎	◎
		E	支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。	○	○
		F	子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	◎	◎
13	地域との連携の在り方がわかる。	A	関係機関との連携のとおり方を知っている。(民生委員、健康推進課、幼稚園、子育て支援室など)	○	○
		B	子育て応援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。	○	○
		C	実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。	○	◎
目標	一人一人の気持ちを温かく受け入れ、明るい笑顔で言葉かけをし、安心して過ごせる雰囲気作りをする。				
自己評価	一人一人の話しに耳を傾け、応答してあげ、最後まで聞く心がけ。色々は欲求を受け入れていくことで、さらに信頼関係が深まったと思う。				

記入方法 ( ◎とても良い、 ○良い、 △配慮しましょう )

自己評価表 (1歳児)

ねらい...「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

R2

保育所		名前	自己評価	
No.	内 容		6月	3月
1	優しい笑顔で語りかけ、心のこもった世話をしている。		○	◎
2	生活リズムが身につくように、くり返し話したり行動したりしている。		◎	◎
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。		○	○
4	子どもの興味としつけのバランスを考えながら保育している。		○	○
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。		○	○
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。		○	◎
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受け入れる努力をしている。	A 子どもの思いを大切にしながら対応している。	○	◎
		B 食事・排泄のしつけを個にあわせて工夫している。	◎	◎
		C 心を落ち着かせるために、生活環境を整える(整理整頓)の努力をしている。	○	○
		D 「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止のことはを用いないようにしている。	△	○
		E 個の発達段階によって、可能な目標を定め、個にあわせて支援をしている。(個々にあった手助け)	○	○
		F 子どものサインを見逃さず対応している。	○	◎
8	一人ひとりの声や活動をキャッチし、全体にも気を配っている。		○	○
9	「かかわり」を意識して保育している。	A 保育士の誘いに応えることができるよう配慮している。(あやす・言葉がけをする・たしなめる)	◎	◎
		B 他の子どもに話しかけたり、誘ったりできる雰囲気づくりをしている。	◎	◎
		C 待ってもらっていることに気づいたり、待ってあげたりできる子どもを育むよう配慮している。	○	○
		D 子どもが手本にしたり、真似したりできる行動を意識してとっている。	○	○
10	A 子どもが甘えられる雰囲気を持っている。(雰囲気を作る努力)		○	◎
		B 環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。(保健・衛生)	○	○
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、囁話医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。		◎	◎
12	保護者との連携が十分に取れている。	A 一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	◎	◎
		B 気軽に話しやすい雰囲気作りが出来ている。	○	○
		C 保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	○	○
		D 子育てに関する相談、援助に対応できる。	○	○
		E 支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。	○	○
		F 子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	◎	◎
13	地域との連携のあり方がわかる。	A 関係機関との連携のとり方を知っている。(民生委員、健康推進課、子育て支援室など)	△	○
		B 子育て応援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。	△	○
		C 実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。	○	○
目標	1回1回は褒めて子供たちの自己肯定感を高めていき、スキンシップを十分にとり安心して自分を出せるクラスの雰囲気をつくる。		所長印 若木 育園長 若木 育園長	
自己評価	ゆとりがある時と忙しい時の差が子供への対応にも影響してしまうことがあるので、気づいて、信頼関係を築いていきたいと思う			

記入方法 (◎とても良い、○良い、△配慮しましょう)



自己評価表 (年少児)

ねらい…「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

R2

保育所		名前( )		自己評価		
No.	内 容	6月	3月	6月	3月	
1	優しい笑顔で語りかけ、心のこもった世話をしている。	○	○	○	○	
2	生活リズムが身につくように、くり返し話したり行動したりしている。	◎	◎	◎	◎	
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。	○	○	○	○	
4	子どもの興味としつけのバランスを考えながら保育している。	○	○	○	○	
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。	○	○	○	○	
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。	◎	◎	◎	◎	
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受け入れる努力をしている。	A	子どもの思いを大切にしながら対応している。	○	○	
		B	食事・排泄のしつけを個にあわせて工夫している。	○	◎	
		C	心を落ち着かせるために、生活環境を整える(整理整頓)の努力をしている。	○	○	
		D	「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止のことはを用いないようにしている。	○	○	
		E	個の発達段階によって、可能な目標を定め、個にあわせて支援をしている。(個々にあった手助け)	◎	◎	
		F	子どものサインを見逃さず対応している。	◎	◎	
8	一人ひとりの声や活動をキャッチし、全体にも気を配っている。	○	○	○	○	
9	「かかわり」を意識して保育している。	A	保育士の誘いに応えることができるよう配慮している。(あやす・言葉がけをする・たしなめる)	○	◎	
		B	他の子どもに話しかけたり、誘ったりできる雰囲気づくりをしている。	◎	◎	
		C	待ってもらっていることに気づいたり、待ってあげたりできる子どもを育むよう配慮している。	◎	◎	
		D	子どもが手本にしたり、真似したりできる行動を意識してとっている。	◎	○	
10	A	子どもが甘えられる雰囲気を持っている。(雰囲気を作る努力)	◎	○		
		B	環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。(保健・衛生)	○	○	
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。	○	○	○	○	
12	保護者との連携が十分に取れている。	A	一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	◎	◎	
		B	気軽に話しやすい雰囲気作りが出来ている。	○	◎	
		C	保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	○	○	
		D	子育てに関する相談、援助に対応できる。	○	○	
		E	支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。	○	○	
		F	子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	◎	◎	
13	地域との連携のあり方がわかる。	A	関係機関との連携のとり方を知っている。(民生委員、健康推進課、子育て支援室など)	○	○	
		B	子育て応援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。	○	○	
		C	実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。	○	○	
目標	一人ひとりの良さや頑張りを言認めながら信頼関係を築いていく。				所長印 吉本 育園長 若木 保園長	
自己評価	一人ひとりをしっかり見て言葉掛けを行ったが、気持ちに余裕が足りない時は一人ひとり丁寧に対応できなかった。					

記入方法 ( ◎とても良い、 ○良い、 △配慮しましょう)

自己評価表 (0歳児)

ねらい・・・「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

保育所		名前( )		自己評価	
No.	内 容	6月	3月	6月	3月
1	優しい笑顔で語りかけ、心のこもった世話をしている。	◎	◎	◎	◎
2	生活リズムが身につくように、くり返し話したり行動したりしている。	◎	◎	◎	◎
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。	○	○	○	○
4	子どもの興味としつけのバランスを考えながら保育している。	○	○	○	○
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。	△	○	△	○
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。	○	◎	○	◎
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受け入れる努力をしている。	A	子どもの思いを大切にしながら対応している。	◎	◎
		B	食事・排泄のしつけを個にあわせて工夫している。	◎	◎
		C	心を落ち着かせるために、生活環境を整える(整理整頓)の努力をしている。	○	◎
		D	「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止のことはを用いないようにしている。	◎	◎
		E	個の発達段階によって、可能な目標を定め、個にあわせて支援をしている。(個々にあった手助け)	○	○
		F	子どものサインを見逃さず対応している。	○	○
8	一人ひとりの声や活動をキャッチし、全体にも気を配っている。				
9	「かかわり」を意識して保育している。	A	保育士の誘いに応えることができるよう配慮している。(あやす・言葉がけをする・たしなめる)	◎	◎
		B	他の子どもに話しかけたり、誘ったりできる雰囲気づくりをしている。	◎	◎
		C	待ってもらっていることに気づいたり、待ってあげたりできる子どもを育むよう配慮している。	○	◎
		D	子どもが手本にしたり、真似したりできる行動を意識してとっている。	○	○
10	A	子どもが甘えられる雰囲気を持っている。(雰囲気を作る努力)	◎	◎	
		B	環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。(保健・衛生)	○	◎
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、囑託医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。	◎	◎	◎	◎
12	保護者との連携が十分に取れている。	A	一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	◎	◎
		B	気軽に話しやすい雰囲気作りが出来ている。	◎	◎
		C	保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	○	○
		D	子育てに関する相談、援助に対応できる。	○	○
		E	支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。	○	○
		F	子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	◎	◎
13	地域との連携のあり方がわかる。	A	関係機関との連携のとり方を知っている。(民生委員、健康推進課、子育て支援室など)	△	△
		B	子育て応援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。	○	○
		C	実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。	○	○
目標	安心できる環境の中で一人ひとりがゆったりと過ごし、授乳や睡眠など生活リズムが整うようにする。				
自己評価	月令差があり、一人ひとりゆったりと向き合う時間が少ないので、もう少しかかわり合っていかなければいけないと思う。				

記入方法 ( ◎とても良い、 ○良い、 △配慮しましょう)